



世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和4年 5月30日
第 15 号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」

- ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う
- ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う
- ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる

社会性の学び	知的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

三重県教育委員会の資料より

SST (2)

5領域・17のスキル

1 集団参加行動領域

①ルール理解・遵守スキル

ルールを理解していないのか、理解しているが守れないのかを見極める

②役割遂行スキル

役割を行うことで、集団の中で認められ参加している実感を持つ

③状況理解スキル

周囲で何が起きているかを理解し、適切な行動をとる

3 非言語的コミュニケーション領域

⑨表情認知スキル

相手の表情の変化に気づく、など

⑩ジェスチャースキル

ジェスチャーで自分から伝える、さらに、相手の意図をジェスチャーからキャッチする

⑪身体感覚スキル

場の状況にあった人との距離感、声の大きさ、正しい姿勢をとる

2 言語的コミュニケーション領域

④聞き取りスキル

指示を理解し、周囲に合わせた行動をとる

⑤表現スキル

このスキルを身に付けていないと失敗が増えるため、人前で表現を避けることが起きる

⑥質問・回答スキル

単なる受け答えではなく、相手の言葉の大事な点もまとめる

⑦話し合いスキル

3人以上のため情報量が増え、質問・回答スキルより難易度が高い

⑧会話スキル

この領域のすべてのスキルが必要、相手の気持ちを感じ取る力など総合力が必要

4 情緒的行動領域

⑫自己の感情理解スキル

自己の感情理解なしに他人の感情理解はできない、領域のベースのスキル

⑬他者の感情理解スキル

自分の感情を言語化し、自分だったらと仮定し他人の感情に注目させる

⑭共感スキル

自他の気持ち両方に目を向け理解する体験が統合されて初めて獲得できる

5 自己・他者認知領域

⑮自己認知スキル

自分を過小・過大評価せず、適切に自分を評価する

⑯他者認知スキル

相手の立場や性格を理解する、相手に応じて適切な行動をとる

⑰自己－他者認知スキル

現実場面に合わせ、自己認知、他者認知両方のスキルを同時に活用する

これらのソーシャル・スキル。
構成的グループエンカウンターやQ U分析、道徳の時間の工夫等も考えられます。